Osaka University Knowledge Archive

Title	大阪府立中之島図書館所蔵懐徳堂関係資料目録
Author(s)	湯城, 吉信
Citation	中国研究集刊. 2005, 37, p. 1-27
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/61229
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

中国研究集刊 致号（総37号）平成十七年六月 1—27頁

大阪府立中之島図書館所蔵懐徳堂関係資料目録

湯城　吉信

懐徳堂関係の資料を懐徳堂文庫（大阪大学図書館）に次いで多く所蔵しているのは中之島図書館であろう。同図書館には、懐徳堂関係の写本と複製本とが多数所蔵されており、その一部は、平野翠、多治比郁夫「若干の懐徳堂関係資料」（『大阪府立図書館紀要』27号、平成3年）にすでに紹介されている。それに対して、本稿は、カード検索と実見とに基づき、中之島図書館所蔵の懐徳堂関係資料の全容を紹介せんとするものである。

明治37年（1904）、大阪図書館という名称で開館した現中之島図書館は、翌38年、岡本撫山翁遺書や豊田文三郎遺書など多量の寄贈を受けた。同図書館の懐徳堂関係図書（写本）は、この撫山翁遺書が多い。撫山翁とは、代々、幕府の浪華銅座役を務めた淀屋に生まれ、自身は造幣局の要職を務めた岡本撫山（1840～1904）である。幼少の頃から懐徳堂で学を受け、『浪華人物誌』等の著書を残している。岡本撫山翁遺書は、遺族岡本敬太郎氏より342部1461冊が寄贈された。

次いで、開館5年目の明治42年には、大阪府立図書館（大阪図書館を改称）内にて、大阪人文会が結成される（館報『なにわづ』72号に多治比郁夫「『大阪人文会』覚え書」あり）。後、重建懐徳堂の中心人物となる西村天囚も会員であった。43年末、大阪人文会は懐徳堂記念会へと発展解消し、この関連で、明治45年3月中井家資料（懐徳堂遺書・水哉館遺書）が大阪府立図書館へ寄託された（懐徳堂記念室）。また、同時期に新写本の懐徳堂関係図書が購入された。現中之島図書館所蔵の懐徳堂関係書（写本）は、岡本撫山翁蔵書印のあるものとともに、明治末年の受入印のある同一装丁で作られたものが多いのはそのためである。

ちなみに、懐徳堂遺書・水哉館遺書の大阪府立図書館への寄託は昭和14年に解除され、それらの遺書は、重建懐徳堂に寄贈され、現大阪大学に引き継がれた。（以上、図書の受け入れについては、中之島図書館大阪資料室の平野翠氏にご教示賜った。）

中之島図書館所蔵の懐徳堂関係の写本は、若干の貴重書（大阪府立図書館編『稀書解題目録』あり）を除き、二次資料が多い。ただ、早野橘隧など門人の

ものは手稿が見られる。また、履軒の『毛詩品物図攷雕題』が確認された（井上了「大阪府立中之島図書館蔵『毛詩品物図攷雕題』について」『懐徳堂センター報』2004）ように、調査をすれば貴重資料が発見される可能性がある。

中之島図書館には、写本とともに大量の複製本が所蔵されている。これらは、昭和40年代以降のものである。懐徳堂文庫所蔵本の複製が大半を占めるが、その他、関西大学図書館所蔵本、国会図書館所蔵本、住吉大社所蔵本、大阪市立大学所蔵本、京都大学所蔵本の複製もある。懐徳堂文庫本は、昭和42年(1967)および昭和50年(1975)、昭和56年(1981)にまとめて影印されている（後二者は『懐徳堂遺書』47種)。以上の大量かつ幅広い複製本のお陰で、同図書館だけで懐徳堂関係資料の主なものはほぼすべて目にすることができると言える。大阪関係資料を蒐集し一般に公開しようという意図の下、多治比郁夫氏ら優秀な司書により積極的に資料が蒐集された賜物である。また、人的努力以外に、大阪文化の顕彰と発展とのために相当の予算が割かれていたことは特記すべきであろう。

以上の資料は中之島図書館の書庫に保管されており、大阪資料・古典籍室でカード検索して閲覧できる。以下、筆者が調査した中之島図書館所蔵の懐徳堂関係資料の一覧を挙げる。一覧の内容は基本的に蔵書カードの記載に基づくが、筆者の実見等により訂正、補足も加えた。ただし、筆者の記入ミス、カード情報のミスをそのまま転写した箇所もあると思われる。後日の改訂のため、諸賢のご批正を乞う。

なお、附録として研究参考書も挙げた。懐徳堂研究の基本図書リストとして活用されたい。

配列は、懐徳堂全般に関わる物を最初に置き、後は懐徳堂関係人物(生年順)毎にまとめた。人物内では、おおよそ、経書関係、論文、随筆、文芸、書簡の順に並べ、漢文を先に和文を後に配列したが、厳密なものではない。それぞれの資料については、書名、分類番号(改行段下げ)を記し、「＊」の後に、巻数、丁数(複製は枚数)、制作年、本の種類などを記した。分類番号の頭に漢字、ひらがながあるものは貴重書で閲覧に特別の許可が必要なものが多い。以下、『大阪府立中之島図書館和漢書目録規定』(昭和50年)に基づき、その内容を記す。

「甲和」：貴重書(和本)。

「甲雑」：貴重書(雑品)。

「丙活」：準貴重書(近世活字版)。

「子」：和装小型本(縦10～15cm)。

「い」：和装の図集、画帖等。

「石崎」：「石崎文庫」。一部が貴重書。

「朝日」：「朝日新聞文庫」。一部が貴重書。

【本目録体例】

『書名』
〔分類(請求)番号〕　＊〔資料の形状（書物以外）、分量、その他（複製など）、内訳（多い場合は改行段下げで示す）〕

【目次】

〈懐徳堂全般〉……4
〈懐徳堂関係者〉……6
・三宅石庵（正誼）……6
・中井甃庵……6
・五井蘭洲……7
・三宅春楼……9
・富永仲基……9
・加藤景範……10
・山片蟠桃……11
・草間直方……12
・中井竹山……12
・中井履軒……14
・中井藍江……18
・中井蕉園……18
・中井碩果……19
・三村其原……19
・早野橘隧……19
・並河寒泉……20
・河井雍（立牧（りゅうぼく））……20
〈懐徳堂周辺人物〉……21
・麻田剛立……21
・脇屋蘭室（脇愚山）……21
・尾藤二洲……21
〈懐徳堂に関する記述の見えるもの〉……22
〈明治以降〉……23
・岡本撫山……23
・西村時彦（天囚）……23
・松山直蔵……24
・吉田鋭雄……24

【附録】研究参考書 ……24
〈目録〉 ……24
〈影印・復刻〉 ……24
〈紹介書・研究書〉 ……25
〈雑誌〉 ……27

〈懐徳堂全般〉

『懐徳堂遺書』

045/156　＊懐徳堂文庫本の複製。33種(昭和50年)、14種(昭和56年)。

1,『懐徳堂辛丑寿巻』　452626　＊48枚。
2,『先哲手簡』　452627　＊75枚。加藤景範。
3,『懐徳堂帖』　452628　＊86枚。
4,『懐徳堂先哲反古帖』　452629　＊80枚。
5,『秋萩帖(道風書)』　452630　＊14枚。
6,『混沌諸彦銭叔宝楽志図引』　452631　＊20枚。
7,『紫烟帖』　452632　＊12枚。三宅石庵書。
8,『竹山先生遺筆背誦残紙』　452633　＊38枚。
9,『懐徳帖』　452634　＊6枚。中井竹山書。
10,『襄陽帖』　452635　＊12枚。三宅石庵書。
11,『緩歩帖』　452636　＊6枚。三宅石庵書。
12,『履軒先生対月帖』　452637　＊9枚。
13,『耳聞手記』　452638　＊25枚。
14,『万年先生遺稿(附書状)』　452639　＊16枚。三宅石庵。
15,『子華孝状』　452640　＊9枚。加藤景範。
16,『懐徳堂考定中庸』　452641　＊12枚。三宅石庵。三宅春楼書。
17,『新題和歌百首』　452642　＊32枚。五井蘭洲、加藤景範、川井立牧。
18,『蘭洲先生十三回忌辰追悼和歌並詩選』　452643　＊8枚。
19,『騮碧嚢』　452644　＊83枚。中井蕉園。
20,『常言』　452645　＊19枚。中井履軒。
21,『稲垣浅之丞純孝記録』　452646　＊19枚。
22,『唐詩選国字解』　452647　＊24枚。中井履軒。
23,『国儒雑著』一、三　452648　＊58枚。加藤景範。
24,『諧韻瑚璉』　452649　＊48枚。中井履軒。
25,『奠陰消息』　452650　＊15枚。中井竹山。
26,『あらまほし』一～四　452651　＊84枚。中井履軒。
27,『息游先生事状』　452652　＊11枚。中井甃庵。
28,『万年先生論孟首章講義』　452653　＊18枚。三宅石庵。
29,30,31,『論語徴駁』巻一～十　452654～452656　＊257枚。井狩雪渓。
32,『家祖先哲拾遺集』　452657　＊45枚。並河寒泉。
33,『家世交誼集』　452658　＊15枚。並河寒泉。
34,『学校校務記録』　538720　＊87枚。

35,『懐徳堂内事記』538721＊43枚、『懐徳堂外事記』＊53枚(計96枚)。
36,『三宅幸蔵変宅ニ付御同志中へ懸合候覚』538722＊25枚、『逸史献上記録』＊14枚、『御同志中相談』＊29枚、『懐徳書院掲示』＊6枚、『歎願書案』＊12枚、『安政六年己未助成金一条書』＊6枚、『万年二年辛酉義金助成金簿』＊3枚、『渫翁遺言状』＊22枚(計117枚)。
37,『万年先生遺墨帖』538723＊26枚、『春のことば』＊13枚、甃庵、『述龍篇』＊29枚、履軒、『華胥国物がたり』＊20枚、履軒(計88枚)。
38,『履軒外集』　538724　＊147枚。
39,『越吟』　538725　＊111枚。中井履軒。
40,『刀甲弁』538726＊18枚、『鶏肋疑文』＊65枚、『弁妄』＊18枚、『服忌図』＊10枚(計111枚)。＊以上四書、履軒著。
41,『士喪礼』538727＊24枚、履軒、『履軒先生書拓本』＊15枚、『宝暦測量図』＊14枚、履軒、『十路闘詩』＊16枚、『杞憂漫言』＊37枚、蕉園(計106枚)。
42,『文通』　538728　＊136枚。並河寒泉。
43,『寒涛廬定規条目』538729＊10枚、寒泉、『蕉園先生拾遺録』＊39枚(計49枚)。
44,『並河寒泉遺稿』一　538730　＊140枚。
45,『並河寒泉遺稿』二　538731　＊142枚。
46,『並河寒泉遺稿』三　538732　＊125枚。
47,『答奥野温夫書』538733＊23枚、寒泉、『寮中日課』＊7枚、寒泉、『難波中つかみ』＊6枚、寒泉、『懐徳堂夜話』＊49枚、碩果(計85枚)。

『懐徳堂遺書』
031/12　＊懐徳堂記念会。明治44年刊。
『奠陰集』『論語逢原』『竹山国字牘』『勢語通』『茗話』『懐徳堂五種』(『論孟首章講義』『五孝子伝』『富貴村良農事状』『蒙養篇』『貞婦記録』)。

『懐徳堂関係資料』
190.1/36　＊大阪市立中央図書館大阪市史編纂所所蔵本の複製(1972)。
『学問所建立記録』『懐徳堂定約附記』『懐徳堂義金簿』『御同志中相談覚』『三宅幸蔵変宅ニ付御同志中へ懸合候覚』『逸史献上記録』『義金助成金簿』『懐徳堂記』(計119枚)。

『懐徳堂纂録』
190.1/34　＊複製本(1972)。大阪市役所蔵書印あり。
『懐徳堂纂録』『懐徳堂内事記、懐徳堂外事記』。

『懐徳堂旧記』
190.1/1305#　＊懐徳堂堂友会。1935年。

『懐徳堂旧記拾遺』
190.1/1305#　＊懐徳堂堂友会。1936年。

『懐徳堂文巻』
235.4/196　＊懐徳堂文庫本の複製。35枚。

『懐徳堂詩巻』
237.4/732　＊懐徳堂文庫本の複製。20枚。

『懐徳堂会餞詩巻』
237.4/730　＊懐徳堂文庫本の複製。11枚。

『懐徳堂先賢墨迹』
い1/5　＊大正1年。隆文館。
朝日905/5　＊大正1年。
『懐徳堂印存』
938/48　＊大正2年。2冊。
938/140　＊昭和14年序。2冊。
『懐徳堂水哉館遺書遺物目録』
190.1/1307#　＊懐徳堂堂友会。1939年。
190.1/1307/(2)#　＊懐徳堂堂友会。1939年。
『懐徳堂所蔵懐徳堂先賢著述目録』
190.1/1309#　＊吉田鋭雄編。懐徳堂堂友会。1941年例言。
(参考)
『大阪訪碑録』〈浪速叢書10〉
035/5#他(開架)　＊洋装本。1929年。懐徳堂関係者の墓碑を収める。

〈懐徳堂関係者〉

・三宅石庵（正誼）(1665～1730)
『甃庵先生墓碑銘』
354.8/16　＊拓本。1帖。
『道澄寺鐘銘』
い3/82　＊大正5年。折本。小野道風書、三宅正誼等校定。
『医事傍観』
石崎692/165　＊写本。1冊。
『紫烟帖』
い3/83　＊折本。1帖。

・中井甃庵(1693～1758)
『五孝子伝』
甲和865　＊巻子本。一鷺菴(林幽甫)画。
甲和49　＊写本。1冊。17丁。元文4年(1739)、富永芳春写。
『喪祭私説』
甲和324　＊1冊。
138/28　＊懐徳堂文庫本の複製。
『とはずがたり』
041/346　＊寛政3年(1791)刊。
041/10　＊寛政3年(1791)刊。
『不問語(とはずがたり)』
041/564　＊大正15年、懐徳堂堂友会。24丁。
『甃庵先生歌文巻』
224.8/286　＊懐徳堂文庫本(手稿本)の複製。21枚。

・**五井蘭洲**（1697～1762）　＊寺門日出男「五井蘭洲遺稿の伝存について」
（都留文科大学国文学会『国文学論考』40号、平成16年3月）参照。
『左伝蓄義』
183.5/62　＊12冊。
〔五井蘭洲講義筆記六五種〕　＊和文。「船曳氏蔵本」印あり。昭和21年受入。
『易学啓蒙講義』　183.1/98　＊1冊。71丁。
『易四伝講義』　183.1/96　＊1冊。101丁。
『易経紀聞』　183.1/100　＊1冊。136丁。
『易本義紀聞』　183.1/102　＊2冊。上132丁、下104丁。
『易経程伝紀聞』　183.1/104　＊1冊。30丁。
『周易程伝紀聞』　183.1/106　＊1冊。106丁。
『書経紀聞』　183.2/86　＊2冊。
『書経集註紀聞』　183.2/88　＊1冊。
『書経蔡註紀聞』　183.2/90　＊2冊。
『書経講説』　183.2/92　＊1冊。
『書経答問』　183.2/94　＊2巻2冊。
『書経紀聞』　183.2/96　＊2冊。
『詩経紀聞』　183.3/100　＊2巻2冊。
『詩経講義』　183.3/102　＊1冊。
『詩経集註紀聞』　183.3/104　＊1冊。
『詩経集註筆記』　183.3/106　＊1冊。
『詩経講義』　183.3/108　＊1冊。
『学庸論語紀聞』　184/90　＊1冊。
『大学講義』　184.1/26　＊1冊。
『大学或問講義』　184.1/60　＊1冊。
『大学段落』　184.1/64　＊1冊。
『大学補伝式問段落』　184.1/66　＊1冊。
『中庸輯略講義』　184.2/26　＊2巻2冊。
『中庸首章解』　184.2/30　＊1冊。
『中庸天命性図解』　184.2/32　＊1冊。
『中庸講義』　184.2/34　＊1冊。
『中庸輯略紀聞』　184.2/34　＊1冊。
『論語解』　184.3/122　＊4巻附1巻、5冊。
『論語精義筆記』　184.3/124　＊10巻3冊。
『孟子筆記』　184.4/44　＊2巻2冊。
『孟子紀聞』　184.4/46　＊1冊。70丁。
『孟子精義綱領』　184.4/48　＊2巻2冊。
『非伊編』　186/346　＊1冊。
『二程全書講義』　186/348　＊2冊。上182丁、下185丁。
『密察録』　186/352　＊1冊。
『朱子文集講義』　186/354　＊3巻3冊。
『小学紀聞』　186/356　＊2巻2冊。
『性理解』　186/358　＊1冊。
『延平答問筆記』　186/360　＊2巻2冊。

『朱子書節要紀聞』　186/362　＊2冊。上159丁、下189丁。
『通書講義』　186/364　＊1冊。
『近思録紀聞』　186/366　＊3冊。
『近思録紀聞』　186/368　＊1冊。
『伊洛三子博心録講義』186/370
『性論明備録』　186/372　＊1冊。
『百一録』　186/374　＊1冊。
『仁説問答講義』　186/376　＊1冊。
『鈎深録』　186/350　＊1冊。129丁。
『玉講附録紀聞』　186/378　＊3巻3冊。「玉講」は「玉山講義」。上82丁、中78丁、下98丁。
『知新録』　186/380　＊1冊。
『質疑篇』　186/382　＊1冊。57丁。題箋「五井蘭洲先生著並書」とあり。「尚経閣図書記」印あり。
『朱子語類賢也回也之章紀聞』　186/384　＊1冊。
『北渓先生生理字義講義』　186/386　＊2巻2冊。題箋「蘭洲先生生理字義講義」。
『道学関轄録』　186/388　＊1冊。29丁。
『老子経講義』　186.6/78　＊1冊。
『喩叢』　173/280　＊1冊。42丁。比喩の名言を集めたもの。
『詩歌大概紀聞』　224/112　＊1冊。29丁。
『感興詩講義』　237.7/194　＊1冊。47丁。
『日本書紀神代巻講義』　321/206　＊2巻2冊。
『古語拾遺講義』　322/136　＊1冊。34丁。
『神代巻口訳紀聞』　322/138　＊1冊。
『中臣祓三種大祓附録紀聞』　127/58　＊1冊。28丁。
『蘭洲先生遺稿』　041/420　＊2冊。上、112丁。下、96丁。「尚経閣図書記」印あり。
『雑纂』　041/422　＊2冊。
『雑纂』　041/454　＊1冊。
『非物篇』
石崎186/3　＊6巻6冊。
『非物篇附録』
朝日186/2　＊46丁。
『蘭洲遺稿』
朝日235.4/23　＊2冊。写本。乾98丁、坤89丁。
235.4/44　＊2冊。写本。乾98丁、坤95丁。
『鶏肋篇』
朝日235.4/22　＊明治写本。題箋「五井蘭洲遺稿」。8巻4冊。各、71,68,40,49丁。
『質疑篇』
186/34　＊明和3年(1766)序。大阪文淵堂。
186/34　＊明治4年。3冊。附瑣語。
『承聖篇』

甲和433　＊2冊。宝暦7年(1757)序。
『瑣語』
041/84　＊天保3年(1832)。2冊。
『古今通』
朝日224.2/2　＊宝暦6年(1756)写。8巻5冊。
224.2/20　＊明和9年(1772)加藤景範写。8巻8冊。
223.4/112　＊懐徳堂文庫本(手稿本)の複製。7冊。
224.4/158　＊国会図書館本の複製。6巻。1,2巻(120枚),3,4巻(142枚),5,6巻(115枚)。
『勢語通』
223.3/238,240　＊国会図書館の複製。117枚、72枚、89枚。
『伊勢物語抄』
石崎223.3/17　＊2冊。
『五井持軒和歌遺稿』
甲和683　＊1冊。
『和歌新題百首詩』
甲和1054　＊写本。21丁。仮綴じ。自筆草稿、見せ消ち多い。「懐徳書院蔵」の用紙。
朝日237.4/37　＊写本。21丁。甲和1054の忠実な写本。
『五井蘭洲書翰』
甲和1077　＊1通。「若干の懐徳堂関係資料」に前文翻刻あり。
『関西三名儒書簡集』
甲和1077　＊自筆。1巻。中井積善、西依周行(成斎)、五井蘭洲共著。
『僧契沖碑文』
352/432　＊安永8年(1779)刊。加藤景範書。

・三宅春楼（1712～1782）
『三宅春楼書翰』
甲和1099　＊自筆。1通。才二郎より文治宛。「若干の懐徳堂関係資料」に翻刻あり。
『三宅春楼書状』
甲和1277　＊平田源介宛。3月9日付。
(参考)
『古梅園墨譜後編』
927/2　＊安永2年(1773)古梅園刊。中井竹山序(1773)、三宅春楼序(1774)。
『蘭斎画譜』蘭竹の部八冊
甲和351　＊天明2年(1782)刊。三宅春楼・中井竹山の詩を載せる。

・富永仲基（1715～1746）　＊門人。
『翁之文』
甲和494　＊1冊。37丁。延享3年(1746)刊。
186/404　＊大正13年。
『翁道の枝折(しをり)』

甲和568　＊1冊。37丁。安永8年(1779)刊。「翁之文」の改題。
『出定後語』
130/60　＊2冊。文化年間(1804～1818)。

・**加藤景範**（1720～1796）　＊門人。歌人。多治比郁夫「加藤景範年譜」（『大阪府立図書館紀要』8号、昭和47年）参照。
『かはしまものがたり』
甲和191　＊明和8年(1771)序刊本。35丁。
『教訓十五条』
甲和59　＊自筆。19丁。
『間思随筆』
甲和102　＊手稿。42丁。『大阪府立図書館紀要』12号（昭和51年）に翻刻あり。
『松菴雑録』
045/102　＊関西大学本の複製(昭和41年)。15枚。
『松菴雑録、砕石話抄』
045/102　＊関西大学本の複製(昭和41年)。各14枚、15枚。
『三余唫稿』
224.5/714　＊大阪市立大学森文庫の複製(1982)。37枚。共著。
『建武年中行事類纂、宝暦六年日記』
223.5/24　＊関西大学本の複製(昭和41年)。15枚。
『何世話』
甲和323　＊写本。擬古物語。明和3年(1764)完成。
『竹葉露』
甲和465　＊巻子本。5巻。
『国儒雑著』二
235.4/198　＊懐徳堂文庫本の複製(昭和42年)。35枚。
『加藤竹里文集』
223.2/42　＊3冊。
『枕草子類話』
223.4/110　＊京都大学本の複製(昭和41年)。15枚。
『竹里君関東紀行』
223.6/130　＊東洋文庫本(自筆本)の複製(1984)。22枚。
『芳埜日記』
223.6/88　＊14丁(原表紙1,白紙1を含む)。写本。文化1年(1804)識。
『百首歌合』
223.7/124　＊東洋文庫本の複製。44枚。加藤景範判。
『加藤竹里書簡集』
223.9/109　＊懐徳堂文庫本の複製(昭和42年)。125枚。
『環湖帖』→中井竹山の項参照。
『国雅管窺』
甲和658　＊享和2年(1802)刊。歌学書。
224.2　＊享和2年(1802)。歌学書。

『和歌虚詞考』
224.2/32　＊寛政1年(1789)。2冊。歌学書。
『和歌美那礼草』
224.2/4　＊寛政4年(1792)。
『和歌三類集』
224.2/56　＊安永6年(1777)。
『和歌実践集』一～五
224.2/66　＊寛政7年(1795)。歌学書。
『新古今集旧注補遺』
224.4/138　＊九州大学本の複製。62枚。
『和歌浜つと』
224.5/244　＊安永6年(1777)。歌学書。
『六吟百首和歌』
224.5/630　＊住吉大社本の複製(昭和44年)。14枚。
『奉納月次和歌』
224.5/632　＊住吉大社本の複製(昭和44年)。2冊。
『蔵山集』
甲和322　＊安永4年(1775)刊。1冊。
224.5/634　＊住吉神社本の複製(昭和44年)。33枚。
『閑吟羈旅百首』
224.5/658　＊写本。
『松のした露』
224.5/718　＊大阪市立大学森文庫本の複製(昭和57年)。18枚。
『名所ついまつ』
224.8/112　＊安永2年(1773)。歌学書。
『名所津以松(補遺)』
224.8/174　＊写本。
『十題百首』
224.8/282　＊懐徳堂文庫本の複製(昭和42年)。6枚。
『竹里先生歌文巻』
224.8/284　＊懐徳堂文庫本の複製(昭和42年)。12枚。
『和歌新題百首詩』→五井蘭洲の項。
『僧契沖碑文』→五井蘭洲の項。
『冠辞考私説』
272/92　＊関西大学本の複製(昭和41年)。29枚。
『助字考』
273/48　＊関西大学本の複製(昭和41年)。47枚。

・**山片蟠桃**（1748～1821）　＊門人。
『梁蛻翁泰伯章講義』
甲和1093　＊写本。29丁。梁田蛻巌著、山片芳秀(蟠桃)補。
『夢の代』
甲和182　＊写本。12冊。
朝日041/24　＊写本。12巻20冊。

『草稿抄』
甲和1074　＊明治6年識。6巻3冊。
233/34　＊6巻。

・**草間直方**（1753～1831）　＊門人。
『三貨図彙』
〔分類番号なし〕　＊44冊。草間家寄託本。寛政6年(1794)竹山序、加藤景範跋。
『古今貨幣図説』
朝日515/1　＊33巻33冊。

・**中井竹山**（1730～1804）
『易断』
183.1/36　＊5冊。　cf.『詩断』『礼断』『四書断』はなし。
『左伝聞書』
183.5/68　＊門人記。
『国語刪正小学』
186/298　＊朱子撰。竹山雕題。4冊。
『詩律兆』
236/16　＊安永6年(1777)。3冊。
『非徴』
石崎186/4　＊天明4年(1784)刊本。8巻8冊。
『逸史』
朝日325.1/2　＊13冊。文化5年(1808)中井柚園写。
325.1/2　＊13冊。天保13年(1842)刊。
石崎325.1/1　＊13冊。嘉永1年(1848)。
朝日325.1/1　＊13冊。嘉永1年(1848)。
325.1/2　＊3冊。嘉永1年(1848)。
『逸史問答』
325.1/80　＊菱川賓(奏嶺)。写本。54丁。「岡本撫山翁遺書寄贈記」印。
丙活283　＊2冊。拙修斎叢書。
『災後蕘言』
418/104　＊写本。15丁。
560.1/2　＊懐徳堂文庫本の複製。17枚。
『草茅危言』
丙活421　＊5巻5冊。刊本。
丙活180　＊5冊。寛政1年(1789)序。
丙活45　＊5巻10冊。刊本。
丙活116　＊5巻5冊。寛政1年(1789)序。
朝日418/3　＊5巻10冊。刊本。
石崎325.1/1　＊12巻13冊。嘉永1年(1848)。
石崎418/1　＊5巻10冊。江戸末期。拙修斎叢書。
418/8　＊2冊。明治1年。
418/136　＊5冊。昭和17年懐徳堂記念会。

418/102　＊5冊。写本。
『社倉私議』
甲和189　＊天保4年(1833)柚園写。28丁。
丙活222　＊寛政6年(1794)刊。拙修斎叢書。24丁。
丙活185　＊寛政6年(1794)跋刊本。24丁。
『奠陰集』
233/144　＊20冊。『洛汭奚囊』と同じ装丁。
『奠陰略稿』
甲和164　＊文政6年(1823)写。1冊。57丁。安永2年(1773)自序。「浜和助」印。
丙活15　＊2巻2冊。53丁。安永2年(1773)刊。拙修斎叢書。3本あり（1本は1冊)。
237.4/726　＊懐徳堂文庫本の複製。64枚。
『西岡集』
朝日237.4/27　＊明治44年。27丁。
甲和163　＊29丁。文政6年写。
237.4/752　＊明治44年。
『遊芳山記』
235.6/110　＊1冊。「懐古八首」に注なし。巻末に抄者の識語と七絶26首とあり。
『芳山紀行』
377/68　＊1冊。27丁。「岡本撫山翁遺書寄贈記」印。
『芳山紀行並詩』
235.6/178　＊懐徳堂文庫本の複製。
『東西遊記』(東征稿、西上記)
235.6/182　＊2冊。嘉永6年(1853)刊。上(東征稿)28丁。下(西上記)35丁。
『東征稿』
237.7/102　＊青雲堂刊。嘉永3年(1850)序。28丁。
235.6/102　＊写本。46丁。細井徳民評。附「西上記」。「浜和助」印。
三井41　＊写本。38丁。細井徳民評。附「西上記」。
『西上記』
丙活309　＊刊本。20丁。
235.6/112　＊青雲堂刊。嘉永6年(1853)。
『柬稽』
235.8/16　＊写本。明和5年(1768)識。1冊。45丁。「岡本撫山翁遺書寄贈記」印。書翰の形式を述べる。
『雑志』
甲和709　＊手稿(？)。1巻1冊。24丁。表紙に、前後漢書、名物六帖、朱子文集などの名が見える。
『閑距余筆』
186/196　＊24丁。写本。「浜和助」印。享和1年(1801)序。
『蒙養篇』
173/238　＊明治12年。
173/274　＊懐徳堂文庫本の複製。21枚。

『稲垣子華孝状』
302/54　＊明和2年(1765)刊。版心「懐徳書院蔵」。「住友蔵書」印あり。
『龍野貞婦記録』
175.6/16　＊懐徳堂文庫本(1771年著)の複製。9枚。
『環湖帖』
甲和871　＊16折。中井竹山、履軒、加藤景範著、岩崎象外画。天明8年(1788)序。
『和歌新題百首詩』→五井蘭洲の項。
『中井竹山書幅』
甲和379　＊1軸。「曹娥碑文」。
『関西三名儒書簡集』→五井蘭洲の項。
『国字牘』
041/88　＊8巻7冊。
『中井竹山書翰』
甲和979　＊1通。自筆。
『中井竹山書翰』
甲和1216　＊1巻。稲垣子華宛。
『中井竹山書翰』
甲和1134　＊1巻。4通。「若干の懐徳堂関係資料」に翻刻あり。
『中井竹山書翰』
甲和1135　＊1軸。「若干の懐徳堂関係資料」に翻刻あり。
『中井竹山書状』
甲和1182　＊1通。
『中井竹山先生書』
112/20　＊1帖。
(参考)
『瀧松隠詩稿』
甲和1094　＊1冊。21丁。竹山批評。自筆。裏見返しに竹山自筆「才論」あり。
『仙物介寿』
237.7/32　＊安永5年(1776)刊。中井竹山・早野仰斎の詩あり。
『古梅園墨譜後編』→三宅春楼の項。

・**中井履軒**（1732～1817）
『毛詩品物図攷』
183.3/64　＊天明5年(1785)刊。書き入れあり。カードでは「中井碩果書入本」とするが、履軒の『毛詩品物図攷雕題』だと思われる（井上了「大阪府立中之島図書館蔵『毛詩品物図攷雕題』について」『懐徳堂センター報』2004)。
『春秋左氏伝雕題』
丙活77　＊6巻6冊。刊本。
『史記雕題』
332.1/92　＊4冊。写本。
『論語雕題』

184.3/54　＊2冊。写本。上99丁、下75丁。欄外に「徵曰…」というコメントあり。

『小学雕題』

186/16,92　＊2冊。明治15年。上48丁、下20丁。

『朱子小学注釈』

186/462　＊4冊。明治17年。

『七経雕題略　易経』

183.1/46　＊写本。2冊。

『七経雕題略　書経』

183.2/42　＊写本。1冊。

『七経雕題略　詩経』

183.3/50　＊写本（明治26年）。3冊。

『再校七経雕題略　左氏伝之部』

丙活223　＊刊本。版心「聚星堂」。6冊。

『春秋左氏伝雕題略』

183.5/10　＊6冊。万延1年（1860）。

183.5/120　＊6冊。万延1年（1860）。

『再校七経雕題略　礼記之部』

丙活264　＊刊本。版心「聚星堂」。7冊。

『七経雕題略　孟子之部』

184.4/28　＊写本。明治3年。1冊。打付書「孟子雕題　全」、内題「七経彫（ママ）題略七之一」。　＊『中庸雕題略』『論語雕題略』はなし。

『七経逢原』

甲和124　＊31冊。三村崑山写。

182/66　＊昭和2年。2冊。「中庸逢原」「大学雑議」。

『周易逢原』

朝日183.1/12　＊大正15年。3冊。

183/12　＊大正15～昭和2年活字本。3冊。

『大学雑議』

184.1/18　＊写本。15丁。「岡本撫山翁遺書寄贈記」印。

『中庸逢原』『大学雑議』

183/12　＊昭和2年。2冊。昭和2年。

『絶句逢原』

甲和155　＊1冊。8丁。手稿。

『履軒弊帚』

甲和148　＊文政13年(1830)中井環写。3巻3冊。各54,98,39丁。彩色あり。目録に丁数を明示する。

『弊帚続編』

235.4/192　＊懐徳堂文庫本の複製。101枚。

『履軒髦言』

甲和156　＊3冊。

418/20　＊3冊。

『履軒幽人文稿漫録』

235.4/186　＊懐徳堂文庫本の複製。97枚。

『永日堂辨論』
186/450　＊国会図書館本の複製。91枚。
『履軒数聞』
548/14　＊懐徳堂文庫本(履軒手稿本)の複製。57枚。
548/12　＊懐徳堂文庫本(簣山写本)の製。54枚。
『深衣図解』
187/4　＊天保4年(1833)写。15丁。
『水哉子』
甲和157　＊写本。『履軒髦言』を分綴。
甲和158　＊50丁。
041/108　＊3冊。
235.4/226　＊懐徳堂文庫本の複製。35枚。
『述龍篇』
587/58　＊1冊。24丁。癸巳(1773)序。『洛汭奚嚢』と同じ装丁。
『後聖空議』
418/50　＊写本。
『通語』
丙活105　＊10巻3冊。拙修斎叢書。「西荘文庫」印。天34丁、地26丁、人21丁。
丙活242　＊3冊。刊本。拙修斎叢書。天34丁、地26丁、人21丁。
321/100　＊3冊。天保14年(1843)。
321/136　＊3冊。天保2年(1831)序。
『伝疑小史』
丙活80　＊15丁。拙修斎叢書。
丙活56　＊15丁。「帋魚庵蔵書」「烏江文庫」印。
『穂篇』
324.8/24　＊内容は穂篇、燭篇、感篇（おそらく手稿本『越吟』の最初にあるものの抄)。『伝疑小史』の一部。装丁は『洛汭奚嚢』と同じ。
『東遊紀行』
甲和154　＊2巻。15丁。
『昔昔春秋』　＊偽作だと言われている。
石崎229.5/3　＊刊本。31丁。
259/10　＊刊本。31丁。
『諧韻瑚璉』
282/28　＊2冊。『履軒古風』と同じ装丁で、筆跡も似る。
『履軒古風』
237.4/66　＊4冊。旧撫山翁蔵書。
『洛汭奚嚢』
237.4/102　＊1冊。他、同じ装丁の写本多し(『月可録』など)。
『枕上雑題』
237.4/92　＊2冊。
『月可録』
041/58　＊8丁。『洛汭奚嚢』と同じ装丁。識語「明治庚戌(1910)二月朔嚌凍毫于寒燈之下以古漁邨舎蔵本書写交了　東々畏卿識」。

『年成録』
　甲和277　＊2巻2冊。
『三茅議』
　418/84　＊『恤刑茅議』『均田茅議』『攘斥茅議』。
『恤刑茅議』
　丙活301　＊46丁。刊本。
　496/42　＊写本。10丁。『洛汭奚囊』と同じ装丁。明治45年受入。
『井田和解』
　447/52　＊21丁。「井田図考」を合本。
『越俎弄筆』
　691.2　＊1冊。
『昔の旅』
　223.6/48　＊1冊。『洛汭奚囊』と同じ装丁。漢字は見やすい。
　223.6/98　＊懐徳堂文庫本の複製。29枚。
『あらまほし』
　418/68　＊4巻5冊。
『遺草合巻』
　045/120　＊懐徳堂文庫本の複製。62枚。
『履軒先生和文集』
　045/116　＊懐徳堂文庫本の複製。110枚。
　　乾：『華胥国歌合』『昔の旅』、坤：『華胥囈語』。
『華胥囈語』
　510/10　＊1冊。『洛汭奚囊』と同じ装丁。漢字は見やすい。
『華胥国歌合』
　224.7/18　＊1冊。『洛汭奚囊』と同じ装丁。漢字は見やすい。
『華胥国暦』
　641/8　＊写本。
『履軒越吟』
　224.5/94　＊1冊。『洛汭奚囊』と同じ装丁。漢字は見やすい。
『風懐百首』
　224.5/530　＊懐徳堂文庫本の複製。20枚。
『百首贅々残紙巻』
　224.8/280　＊懐徳堂文庫本の複製。14枚。
『古都多飛』
　223.6/100　＊懐徳堂文庫本の複製。12枚。
『樺帖』
　甲和321　＊2巻2冊。
『画觸』
　045/100　＊関西大学本の複製。52枚。動植物の解説書。和文。後半は絵あり。読みは「えくじり」か（『懐徳堂—浪華の学問所』）。
『老婆心』
　698/8　＊23丁。文化9年写。
　698/10　＊写本。

692/96　＊懐徳堂文庫本の複製。45枚。「しがらみ」を附す。
692/94　＊懐徳堂文庫本の複製。24枚。
『環湖帖』→中井竹山の項。
『対月帖』
い2/63　＊折本。文化1年(1804)。
『履軒（昨夜承恩）帖』
甲和529　＊折本。14折。嘉永4年(1851)篠崎小竹識語。
『視箴帖』
923/58　＊咬菜窩(崑山)、文化5年(1808)の拓本。「視箴、聴箴、言箴、動箴(以上、程正叔作)、克己銘(呂与叔作)、西銘、東銘(張子厚作)」。
『中井履軒　五言二句』
甲和720　＊1軸。
『大阪名家短冊』21
甲雑126-21　＊「やまと歌は人の心をたねとしてよろづのことの葉とぞなりける」。
『中井履軒書幅』
甲和735　＊1軸。「若干の懐徳堂関係資料」に翻刻あり。
『中井履軒書翰』
甲和925　＊1通。「若干の懐徳堂関係資料」に翻刻あり。

・**中井藍江**（1766～1830）　竹山弟子。画家。
『播州名所巡覧図会』
371/434　＊5冊。享和3年(1803)。

・**中井蕉園**（1767～1803）
『塤集』
233/118　＊6冊。『騮碧嚢』『仙坡雕虫』と同じ装丁。
『騮碧嚢』
233/116　＊『塤集』と同じ装丁。
『蕉園先生遺稿』
233/552　＊写本。36丁。「浜和助」印。
『蕉園昆山先生文』
235.4/190　＊懐徳堂文庫本の複製。18枚。
『雕虫篇』
235.4/194　＊懐徳堂文庫本の複製。108枚。
『仙坡雕虫』
237.5/16　＊『塤集』と同じ装丁。訓点あり。
『蕉園先生文巻』
235.4/184　＊懐徳堂文庫本の複製。10枚。
『蕉園先生詩巻』
237.4/728　＊懐徳堂文庫本の複製。2巻。46枚。
『甲史』＊蔵書カードは履軒著に誤る。
351/254　＊写本。37丁。『洛汭奚嚢』と同じ装丁。

『越史』＊蔵書カードは履軒著に誤る。
351/252　＊写本。47丁。『洛汭奚囊』と同じ装丁。
『津問』
378/32　＊1冊。『洛汭奚囊』と同じ装丁で、抄者も同じらしい。
『杞憂漫言』
418/52　＊写本。30丁。『洛汭奚囊』と同じ装丁。
『瀟湘八景詩』
32/44　＊軸物。表に「中井蕉園先生書」とある。
『闘詩』
甲和417　＊18丁。蕉園評。
『浪華府学懐徳書院三遺賢鳥蹟』
に1/670　＊1帖。中井蕉園、中井柚園、並河寒泉。
(参考)
『吉野日記』
甲和415　＊1冊。37丁。蘭窓(金崎元永夫人)著。手稿。『騮碧嚢』の吉野行の和文紀行。『大阪府立図書館紀要』22号(昭和61年)に翻字あり。

・**中井碩果**（1771～1840）
『篪集』
233/18　＊25丁。『洛汭奚囊』と同じ装丁。
『碩果先生文稿』
235.4/188　＊懐徳堂文庫本の複製。93枚。
『懐徳堂夜話』
045/186　＊昭和12年。懐徳堂堂友会。＊『懐徳』15号に翻刻あり。
『大阪名家短冊』22
甲雑126-22　＊「遠探芳山万樹春、忘憂花際費吟呻、休問南朝興廃事、病躯壱鬱易傷神」。

・**三村其原**（1762～1825）　＊履軒弟子。
『芳山遊草』
甲和162　＊1冊。
『玉来随録』
041/152　＊写本。9葉。「初代豊田文三郎氏遺書」印。「安政丙辰四月起草甲集」とあり。
『玉来雑記』
325/22　＊2冊。乙19丁、丙28丁。
『花間笑語』
041/294　＊1冊。写本。

・**早野橘隧**（1778～1831）　＊履軒弟子。
『(橘隧)聞記』
甲和350　＊手稿。4冊。
『橘隧骨董(七絶詠詩)』

237.4/650　＊60丁。「有不為斎」印あり。
『橘隧先生詩集』
甲和418　＊「浜和助」印あり。
『南山霧雨』
045/76　＊写本。1冊。29丁。軍記などの漢作文集。艮輔(早野思斎、橘隧の子)、実、力、柚園、衡(竹島簣山)、正巳(橘隧)などの名が見える。

・**並河寒泉**（1797～1879）
『寒泉先生学而筆記』
184.3/52　＊写本。
『辨怪』
235.9/52　＊懐徳堂文庫の複製(昭和42年)。42枚。
『書紀地名考』
374/36　＊加賀文庫本(手稿本)の複製(昭和42年)。41枚。
『華翁耄筆』
045/118　＊懐徳堂文庫(手稿本)の複製(昭和42年)。50枚。
『並河寒泉詩稿』
237.2/192　＊手稿。1冊。干支戊寅稿。
『半夜囈吟』
045/122　＊懐徳堂文庫(手稿本)の複製(昭和42年)。13枚。
『文奎余光(先哲書翰集)』一、二
甲和753　＊並河寒泉写。48丁、29丁。多治比郁夫「契沖・蛻巌・春水　書翰―並河寒泉の『文奎餘光』」(『混沌』7号、中尾松泉堂、昭和56年)参照。
『双瓢帖』
甲和1194　＊共著。折本。
『浪華府学懐徳書院三遺賢鳥蹟』→中井蕉園の項。
(参考)
『浪華四時雑詞』
237.7/74　＊藤沢甫(東畝)編。嘉永2年(1849)刊。寒泉の詩10首、中井桐園の詩2首、早野思斎(橘隧の子)の詩10首を収める。
(参考)
・**並河亮**（1679～1718）　＊寒泉の曾祖父。
『天民遺言』
186/158　＊2冊。享保7年(1722)。

・**河井雍（立牧）**（1707～1766）＊門人。『新題和歌百首』(懐徳堂文庫本)参照。
『大橘集』
237.4/702　＊東京都立中央図書館本の複製。寛政12年(1800)刊本。漢詩集。「橘雍子和著」と記す。末尾に著作一覧あり。『大橘集補遺』『桂山和歌集』『古史和歌通』『和歌瑣言』『小橘集』という著作があったことがわかる。
『桂山集』
224.5/170　＊1冊。明和2年(1765)跋刊本。

『新題和歌百首』→懐徳堂全般の項(『懐徳堂遺書』17)。
『大阪名家短冊』28
甲雑126-28　＊橋上秋夕「くれわたる浜名のはしの秋風に入うみとをくなびく薄霧」。

〈懐徳堂周辺人物〉

・麻田剛立（1734～1799）
『実符暦』
641/84　＊写本。8巻。門人西村太冲編著。

・脇屋蘭室（脇愚山）（1764～1814）
『蘭室集略』
233/682　＊文政13年(1830)刊。正続。竹山序、蕉園跋。

・尾藤二洲（1747～1813）
『正学指掌』
186/156　＊天明7年(1787)。刊本。
『称謂私言』
丙活464、丙活53　＊弘化3年(1846)。拙修斎叢書。15丁。
丙活231　＊文化８年(1811)跋。刊本。19丁。
『静寄余筆』上下
丙活52　＊拙修斎叢書。上41丁、下44丁。
『素餐録』
186/170　＊天保７年(1836)刊本。
『冬読書余』一～三、拾遺
丙活23　＊寛政12年(1800)序。2冊。
『二洲先生択言』
186/242　＊昭和10年、内田周平編。
『流水居詩稿』一～四、五～八
237.4/790　＊浅野図書館本の複製(昭和45年)。2冊。
『二洲先生草稿』
237.4/924　＊国会図書館本(自筆本)の複製(1986)。41枚。
『尾藤二洲先生自筆』
235.4/272　＊国会図書館本(自筆本)の複製(1986)。52枚。
『流水居詩稿』
237.4/922　＊国会図書館本(自筆本)の複製(1986)。50枚。
『流水居文稿』
235.4/274　＊国会図書館本(自筆本)の複製(1986)。41枚。
『静寄軒集』
121.5/18N/10　＊近世儒家文集集成10。ぺりかん社。1991年。
『詩集日本漢詩』7
237.2/51#　＊『静寄軒集』を収録。汲古書院。1987年。

〈懐徳堂に関する記述の見えるもの〉

（参考）

・**上田秋成**（1734～1809）

『上田秋成全集』9

918.5/3N/9他　＊中央公論社。1992年。『胆大小心録』で懐徳堂に言及。

・**毛生必華**

『浪華郷友録』

354.1/90　＊安永4年(1775)刊。三宅春楼、中井竹山、履軒、早野辨之の名が見える。

354.1/16　＊大正14年、聚星堂。26丁。安永4年刊本の複製。

354.1/88　＊寛政2年(1790)刊。29丁。中井竹山、蕉園、碩果、履軒の名が見える。懐徳堂は「尼崎町学問所」という。

朝日354.1/10　＊寛政2年(1790)刊。29丁。

『新刻　浪華人物誌』

351/378　＊文政7年(1824)。中井碩果、三村崑山、早野正巳の名が見える。懐徳堂は「尼崎町学校」という。

・**頼春水**（1746～1816）

『在津紀事』

三井7　＊2巻2冊。竹山、履軒、春楼に関する記述あり。

041/188　＊2冊。明治10年。

041/312　＊1冊。明治10年。

041/548　＊大阪市立大学森文庫の複製(1982)。54枚。

『師友志』

朝日351/36　＊1冊。春水遺稿別録巻3。竹山、履軒、早野辨之、中村有則に関する記述あり。

・**原念斎**（1774～1820）

『先哲叢談』

石崎351/36　＊文化13年(1816)。4冊。巻4に五井持軒、五井蘭洲、巻5に三宅石庵。

朝日351/9　＊文化13年(1816)。5冊。

351/260　＊文化13年(1816)。5冊。

351/416　＊文化13年(1816)。5冊。

・**角田九華**（1784～1855）

『近世叢語』

石崎351/4　＊4冊。天保改正本。文政11年(1828)。五井持軒は巻1,2,3,7に、五井蘭洲は巻1に、並河天民は巻2に、三宅石庵、観瀾は巻3に記述あり。

朝日351/30　＊正8巻、続8巻。8冊。

351/134　＊正続。8冊。文政11年(1828)。
『続近世叢語』
石崎041/14　＊6巻3冊。弘化2年(1845)。巻3(文学)に中井甃庵、竹山、蕉園、履軒、巻5(規箴)に山片蟠桃についての記述あり。

・加藤以修（東岡）　＊加藤竹里の甥。
『名なし草』
甲和23　＊2冊。嘉永7年(1854)手稿。下巻に「中井履軒の事」あり、招聘を断った話など載せる。「若干の懐徳堂関係資料」に関係3条翻字あり。

・田中楽美（右馬三郎、金峰）(1844～1862)**・田中顕美（華城）**(1825～1880)
『大阪繁昌詩』
三井84、237.7/284,286他　＊6冊。前編3巻、楽美著、明治4年刊。後編3巻、顕美著、明治43年刊。後編は稿本もあり（甲和699)。前編巻上に「学校　附竹山履軒二翁評」の項あり。

・松村春風（？～1884)
『近世先哲叢談』
石崎351/24　＊4冊。明治31年。正編上に竹山、履軒の記述あり。
351/54　＊正続4冊。明治31年。
351/54　＊正続。正、明治13年。続、明治15年。
朝日351/27　＊4冊。明治31年。

(参考)
・山田三川
『想古録—近世人物逸話集』一,二
L7/632N,634N　＊平凡社東洋文庫。1998年。中井竹山、中井履軒に関する記述多数あり。

〈明治以降〉

・岡本撫山(1840～1904)　＊「前書き」参照。
『浪華人物誌』
351/26　＊5冊。写本。
351/464　＊4巻4冊。刊本。大正8年(？)。
(参考)
『浪華人物誌索引』
351/26　＊大正2年。

・西村時彦（天囚）(1865～1924)　＊重建懐徳堂。
『懐徳堂考』
甲和406　＊2冊。明治43,44年。
190.1/4　＊大正14年。

190.1/28　＊2冊。1984年復刻。
『碩園先生遺集』
233/678　＊5冊。昭和11年。「碩園先生文集」「碩園先生詩集」「屈原賦説」。
『邵青門文鈔』
子/281　＊6巻4冊。明治16年。長井吉徳との共編。
『宋学伝来考』
186/400　＊明治42年。142頁。
『屑屋の籠』後篇
甲和414　＊自筆稿本。

・**松山直蔵**（1871～1927）　＊重建懐徳堂。
『昭和元年十二月二十八日朝見式勅語宣講』
天/700#　＊大阪市教育会。1927年。
『北宋五子哲学』
180/101#(中央)　＊懐徳堂記念会。1931年。
180/101/(2)#(中央)　＊懐徳堂記念会。1931年。

・**吉田鋭雄**（1879～1949）　＊重建懐徳堂。
『池田人物誌』
351/779(開架)　＊上下2冊。稲束猛との共著。

【附録】研究参考書　＊(中央)は大阪府立中央図書館所蔵。

〈目録〉

『懐徳堂文庫図書目録』
001/1865#(開架)　＊大阪大学文学部編。1976年。
『懐徳堂水哉館遺書遺物目録』→懐徳堂全般の項。
『懐徳堂所蔵懐徳堂先賢著述目録』→懐徳堂全般の項。
「若干の懐徳堂関係資料」(『大阪府立図書館紀要』27号、平成3年)

〈影印・復刻〉

『大阪訪碑録』
035/5　＊昭和4年。〈浪速叢書10〉
〔懐徳堂文庫復刻叢書〕　＊懐徳堂記念会。1988年～。
『非徴』　186/357#　＊中井竹山著。1988年。〈叢書1〉
『非物篇』　121.5/21N　＊五井蘭洲著。1989年。〈叢書2〉
『華胥国物語』　121.5/8N　＊中井履軒著。『華胥国物語』『四茅議』『有間星』『遺草合巻』『越俎弄筆』『華胥国新暦』「顕徴鏡記」。1990年。〈叢書3〉
『史記雕題』上中下　222/72N　＊中井履軒著。1992年。〈叢書4,5,6〉
『中庸雕題』　123.8/10N　＊中井履軒著。中庸関係諸本。1994年。〈叢書7〉
『詩雕題』　921.3/6N　＊中井履軒著。1995年。〈叢書8〉

『論語雕題』　123.8/19N　＊中井履軒著。『論語雕題』『論語雕題略』『論語逢原』。1996年。〈叢書9〉
『周易雕題』　123.1/8N　＊中井履軒著。1997年。〈叢書10〉
『荘子雕題』　124.2/25N　＊中井履軒著。1998年。〈叢書11〉
『孟子雕題』　123.8/33N　＊中井履軒著。1999年。〈叢書12〉
『奠陰集』
186/313#　＊影印。ぺりかん社〈近世儒家文集集成8〉。1987年。
『中井竹山資料集』上下
121.5/207N/3,4　＊ぺりかん社〈近世儒家資料集成3,4〉。1989年。「進逸史牋」「逸史」（江戸幕府献上本）「逸史問答」（拙修斎叢書本）。
『論語義疏』
184.3/60　＊10巻6冊。懐徳堂記念会。大正13年。
朝日184.3/1　＊同上。
『懐徳堂絵葉書』（略）
『日本経済叢書』16
510/137/(2)#　＊『草茅危言』『社倉私議』『経済要語』『年成録』『浚河茅議』『均田茅議』『華胥国物語』の翻刻あり。1915年。
『日本経済大典』23
330.8/9(中央)　＊『草茅危言』『社倉私議』『公田説』『経済要語』『年成録』『浚河茅議』『均田茅議』『恤刑茅議』『攘斥茅議』『華胥国物語』の翻刻あり。1969年。
『日本儒林叢書』1(随筆部)
031/73#　＊『瑣語』の翻刻あり。1927年。
『日本儒林叢書』4(論弁部)
031/73#　＊『閑距余筆』の翻刻あり。1929年。
『日本儒林叢書』5(解説部)
031/73#　＊『天民遺言』の翻刻あり。1929年。
『日本儒林叢書』6(解説部)
031/73#　＊『老子雕題』『翁の文』の翻刻あり。1929年。
『とはずがたり、駿台雑話』
914.5/10N/3-6(開架、一般)　＊〈日本随筆大成〉第3期6。1995年。
『百首贅々・百人一首夷雲』
911.14/117N(開架)　＊福島理子、徳原茂実著。和泉書院〈百人一首注釈書叢刊〉。1997年。

〈紹介書・研究書〉

『懐徳堂事典』
372.1/423N(開架)　＊湯浅邦弘編。大阪大学出版会。2001年。
『懐徳堂考』→西村時彦の項
『先哲の学問』
351/1493#　＊内藤虎次郎（湖南）著。弘文堂。1946年。その他、筑摩叢書、『内藤湖南全集』9にもあり。
『中井竹山・中井履軒』

150/1095/(2)#(開架)　＊加地伸行編。明徳出版社〈叢書・日本の思想家24〉。1980年。

『中国思想からみた日本思想史研究』

152.2/459#　＊加地伸行著。吉川弘文館。1985年。

『懐徳堂朱子学の研究』

121.5/77N/(2)(開架)　＊陶徳民著。大阪大学出版会。1994年。

『懐徳堂　18世紀日本の「徳」の諸相』

372.1/116N(開架)　＊テツオナジタ著。岩波書店。1992年。

『江戸思想史講義』

121.5/151N(開架)　＊子安宣邦著。岩波書店。1998年。

『富永仲基と懐徳堂』

121.5/157N/(2)　＊宮川康子著。ぺりかん社。1998年。

『自由学問都市　大坂』

121.5/226N/(2)(開架)　＊宮川康子著。講談社〈選書メチエ〉。2002年。

『懐徳堂とその人びと』

372.1/324N/(2)　＊脇田修、岸田知子共著。大阪大学出版会。1997年。

『懐徳堂の和学』

152.2/525#　＊大阪大学文学部国文学研究室編。『語文』第10輯。1954年。

『懐徳堂と経済思想』

372.1/366N　＊藤井定義著。大阪府立大学経済学部〈大阪府立大学経済研究叢書43〉。1976年。

『懐徳堂文庫の研究』

026/44N(開架)　＊湯浅邦弘編。2003年。懐徳堂文庫資料解題、目録など。

『懐徳堂知識人の学問と生―生きることと知ること』

372.1/521N　＊懐徳堂記念会編。和泉書院。2004年。

『大阪の学問と教育』

033/143(開架)　＊毎日放送〈毎日放送文化叢書9〉。1973年。

『上方の研究』5

328/701#(開架)　＊宮本又次編。清文堂出版。1977年。

『町人社会の学芸と懐徳堂』

190.1/845#他　＊宮本又次著。文献出版。1982年。

『近世浪華学芸史談』

328/1519　＊水田紀久著。中尾松泉堂。1986年。

『都市の知』特集「懐徳堂と大阪の学問」

372.1/393N/(2)　＊大阪都市協会。1999年。『Soft』30号。

『中井竹山集』

418/1811#　＊菅野和太郎著。誠文堂新光社〈近世社会経済学説大系〉。1935年。

『中井竹山と草茅危言』

418/1589#　＊稲垣国三郎著。大正洋行。1943年。

『富永仲基　山片蟠桃』

152.2/193#他　＊岩波書店〈日本思想大系43〉。『出定後語』『夢ノ代』。

＊その他、山片蟠桃、富永仲基関係は多数あり（略）。

『懐徳堂展覧会目録』
017/261#　＊懐徳堂記念会。1911年。
『懐徳堂の過去と現在』
372.1/183N　＊大阪大学。1953年。
372.1/185N　＊懐徳堂記念会。1979年。
190.1/287#など　＊懐徳堂記念会。1979年。
『浪華人物誌』
017/167#　＊1977年。浪華人物誌展の図録。
藤沢2503　＊同上。
『大阪の学問　懐徳堂・適塾』
190.1/933#　＊大阪大学〈大阪大学放送講座〉。1980年。
『懐徳堂』
190.1/1081/(2)#　＊大阪市立博物館。1986年。展覧会目録100号。
190.1/1081#　＊同上。
『懐徳堂―浪華の学問所』
372.1/195N/(2)　＊懐徳堂友の会。1994年。
『龍野と懐徳堂』
372.1/392N/(2)他　＊龍野市立歴史文化資料館。2000年。
『懐徳堂要覧』
190.1/1313#　＊懐徳堂記念会。1926年。
『懐徳堂記念会会務報告』
190.1/1311#　＊懐徳堂記念会。？年。

〈雑誌〉

『懐徳』
雑/817#　＊雑誌。懐徳堂記念会編。
『懐徳堂センター報』2004
051/289N　＊雑誌（分類は図書）。大阪大学大学院文学研究科・文学部懐徳堂センター編。
『懐徳堂文科学術講演集』
052/83#　＊弘道館。第1輯：1925年。
『懐徳堂百科通俗講演集』
052/85#他　＊弘道館。第1輯：1925年。第3輯：1927年。
『中国研究集刊』
P22/15N　＊大阪大学中国学会。20号に、釜田啓市「懐徳堂関係研究論考目録」あり。
『大阪大学大学院文学研究科紀要』42-2
051/100N　＊大阪大学。2002年。懐徳堂文庫資料解題他。